

時代とハートを動かす

**SEIKO**

2016年3月期 中間報告書

2015年4月1日～2015年9月30日

# Report



IAAF 世界陸上 2015 北京

セイコーホールディングス株式会社



代表取締役会長 兼 グループ CEO  
服部 真二



代表取締役社長  
中村 吉伸

**Q 2016年3月期中間期の経営成績についてお聞かせください。**

**2000年9月に連結中間決算の発表を始めて以来最高の営業利益・経常利益を達成**

(服部) 今年度上半期の連結業績は、売上高1,515億円、営業利益113億円、経常利益113億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は75億円となりました。お陰さまで、営業利益ならびに経常利益は、連結で中間決算の開示を開始した2000年9月以降の最高益を達成することができました。

**Q セグメント別の概況についてお聞かせください。**

**ウォッチ事業の国内の好調が業績を牽引、他の事業分野での収益性も着実に改善**

(服部) ウォッチ事業は、売上・利益ともに前年同期を大きく上回ることができました。

国内市場は、日本人需要の順調な伸びとインバウンド需要の追い風により、ウォッチ完成品全体としては前年同期を大きく上回る売上高となりました。特に、ブランド誕生

55周年を迎えたグランドセイコーや、世界初のGPSソーラーウォッチであるアストロンといった、高付加価値商品が大きな伸びを示しています。

海外では、現地通貨ベースで、客先の在庫調整等により米国が出遅れていますが、欧州ではドイツ、オランダ等、アジアでは台湾等を中心に売上を伸ばしております。

グローバル市場でのブランド価値向上に向け、2004年からセイコーブティックの開設を進め、現在約30か国で約60店を展開しています。当第2四半期には、フランクフルト、モスクワ、ブダペストにオープンいたしました。7月30日には、セイコーブティックの頂点となるセイコープレミアムブティックを東京・銀座にオープンし、ご好評をいただいております。

(中村) 電子デバイス事業は、半導体が車載向けやスマートフォン向け製品等を中心に好調に推移し、水晶振動子ではGPS、監視カメラ向けの売上が拡大しました。また、プリンタ関連も売上を伸ばしました。課題事業となっていたメカトロ事業の収益改善が進みました。

売上・利益の中核である半導体事業のさらなる成長の実現に向け、(株)日本政策投資銀行との共同出資による新会

社が、2016年1月から営業を開始する予定です。新会社は、製造能力拡大・開発機能強化を図りながら、M&A やアライアンス等を含めた業界再編を成長戦略の中核として推進し、アナログ半導体を中心とした対象事業の主力分野で、世界トップ5位以内になることを目指します。

システムソリューション事業は、通信モジュール等の売上減少により、事業全体の売上は前年同期を下回ったものの、決済端末関連製品が順調に推移したことにより、利益面では赤字改善となりました。第三の支柱事業として育成すべく、今後さらに具体的な統合効果を発揮できるように取り組んでまいります。

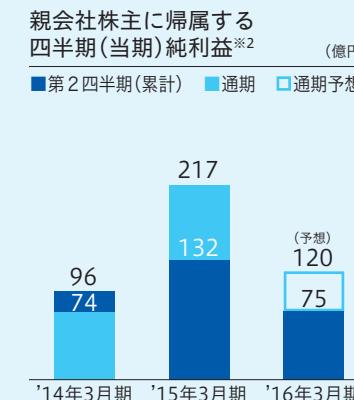
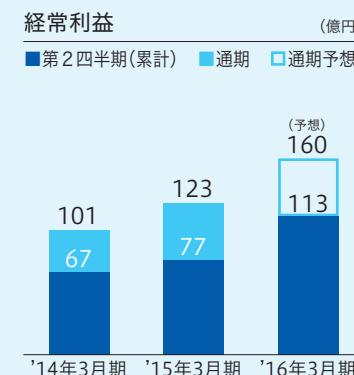
クロック事業は、事業構造改革による収益性の改善とヒット商品などにより、着実に収益の出る事業に変貌しつつあります。和光では、グランドセイコーやアストロンの好調に加え、インバウンド需要の追い風によって売上・利益ともに改善しました。

下期は、中国の経済成長の鈍化に伴う各種リスクに細心の注意を払いながら、通期での売上・利益目標の達成に向けて事業を展開してまいります。

**決算ハイライト**

※1 '14年3月期は眼鏡事業を連結に含む。

※2 「企業結合に関する会計基準」等の適用に伴い、従来の「四半期(当期)純利益」は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」に名称が変更になりました。



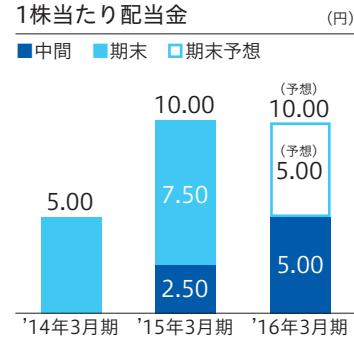
**Q** 株主還元についてお聞かせください。

**継続的・安定的な配当の実施を基本方針としています**

(中村) 株主の皆さまへの還元については、グループの連結業績をベースに、経営基盤強化のため内部留保の充実にも配慮しつつ、長期的な観点から継続的・安定的な配当を実施することを基本方針としております。

この方針に基づき、当2016年3月期中間期末の配当金は1株当たり5円とさせていただきます。なお、期末配当金は5円(年間配当金10円)の見通しであります。

株主の皆さまには、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



**SEIKO TOPICS**

**IAAF世界陸上2015北京でオフィシャルタイマーを担当**

2015年8月22日(土)から30日(日)の9日間にわたって開催されたIAAF世界陸上2015北京で、セイコーはオフィシャルタイマーを務めました。セイコーがIAAF(国際陸上競技連盟)と公式計時契約を締結して、30年の節目を迎えました。

セイコーの計時システムとタイミングチームがタイムや距離の計測を行い、正確な計時で大会をサポートしました。

今回の北京大会では、トラックサイドクロック、風向風速表示盤、周回表示盤の3機材をLED化し、大会会場での視認性を高め、観客・アスリート・大会スタッフが競技の情報を瞬時に把握できるように改良しました。

セイコーパビリオンでは、ウォッチ・クロックの販売コーナーや、陸上競技用機材と一緒に撮影ができるスペースを設けて、多くの方にご来場いただきました。

セイコーが30年で計時したIAAF主催の大会は、今大会でちょうど170大会目になりました。この間、のべ3,100人のセイコーのタイミングスタッフが、地球と月の一往復半にあたる100万キロを移動して計時計測業務を遂行し、トップアスリートが限界に挑むその瞬間や、観る者のハートを揺さぶる感動の瞬間を支えています。



**セグメント別情報**

**ウォッチ事業**



売上高 **852**億円 前年同期比 15.2%増

営業利益 **96**億円 前年同期比 20.3%増

おもな製品  
ウォッチ、ウォッチムーブメント

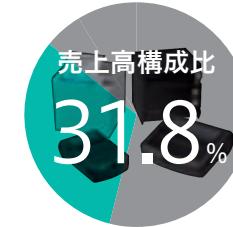


グランドセイコー



GPSソーラーウォッチ  
セイコー アストロン

**電子デバイス事業**



売上高 **501**億円 前年同期比 5.7%増

営業利益 **24**億円 前年同期比 144.0%増

おもな製品  
半導体、水晶振動子、電池・材料、プリンタ、ハードディスクコンポーネント、カメラ用シャッター

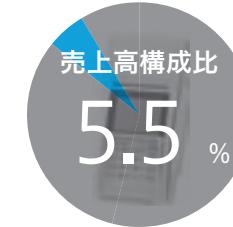


車載用IC



小型サーマルプリンタ

**システムソリューション事業**



売上高 **86**億円 前年同期比 14.6%減

営業損失 **22**百万円 前年同期は 67百万円の 営業損失

おもな製品  
無線通信機器、データサービス、情報ネットワークシステム



データセンターサービス  
決済サービスCREPICO



タイムサーバー Pro

**その他**



売上高 **136**億円 前年同期比 20.5%増

営業利益 **1**億円 前年同期は 4億円の 営業損失

おもな製品  
クロック、高級宝飾・服飾・雑貨品、設備時計他



デジタル電波時計  
セイコー シリーズC3



和光企画 ハンドバッグ  
Sac de Temps (時のバッグ)

単位：億円未満切り捨て

主な経営成績 (億円)	2011年3月期 (第150期)	2012年3月期 (第151期)	2013年3月期 (第152期)	2014年3月期 (第153期)	2015年3月期 (第154期)	〈参考〉 2016年3月期 (第155期) 第2四半期
売上高	3,138	2,969	2,837	3,082	2,934	1,515
営業利益	116	67	55	140	116	113
経常利益	65	12	32	101	123	113
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益*	21	△ 110	55	74	217	75
純資産	462	319	408	647	925	944
総資産	4,004	3,861	3,553	3,667	3,337	3,250
営業活動によるキャッシュ・フロー	204	111	214	155	165	110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 86	△ 112	△ 20	△ 109	462	△ 3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 143	3	△ 292	△ 35	△ 668	△ 135

\*「企業結合に関する会計基準」等の適用に伴い、従来の「四半期(当期)純利益」は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」に名称が変更になりました。

1株当たりデータ (円)

純資産	203.97	131.65	188.76	304.24	437.52	—
四半期(当期)純利益	12.43	△ 60.25	29.41	35.92	105.39	36.39
配当金	2.00	0	2.50	5.00	10.00	5.00

主な指標

自己資本比率(%)	9.3	6.2	11.0	17.1	27.1	28.5
ROA(総資産経常利益率/%)	1.6	0.3	0.9	2.8	3.5	—
ROE(自己資本当期純利益率/%)	6.0	△ 36.0	17.5	14.6	28.4	—
PER(株価収益率/倍)	22.9	△ 3.3	14.3	11.4	5.8	—
配当性向(%)	16.1	—	8.5	13.9	9.5	—

→財務データに関する詳細な情報は当社ホームページよりご覧いただけます。 <http://www.seiko.co.jp/ir/financial/index.html>

会社情報

会社概要

社名	セイコーホールディングス株式会社
創業	1881年(明治14年)
資本金	100億円
従業員数	120名(単体) 13,872名(連結)
本店所在地	〒104-8129 東京都中央区銀座四丁目5番11号
本社所在地	〒105-8505 東京都港区虎ノ門二丁目8番10号 虎ノ門15森ビル 電話：03-6739-3111(代表)
WEBサイト	<a href="http://www.seiko.co.jp">http://www.seiko.co.jp</a>

役員

代表取締役会長 兼 グループCEO	服部 真二
代表取締役社長	中村 吉伸
常務取締役	内藤 昭男
取締役	梅本 宏彦
取締役	高橋 修司
取締役	大熊 右泰
取締役	村上 斉
取締役	石井 俊太郎
取締役	藤井 美英
取締役	土居 聡
取締役	原田 明夫*1
取締役	カーステン・フィッシャー*1
常勤監査役	鈴木 政利
常勤監査役	三上 誠一
監査役	森田 富治郎*2
監査役	山内 悦嗣*2
監査役	青木 芳郎*2

\*1 社外取締役  
\*2 社外監査役

株式情報

株式の状況

発行可能株式総数	746,000,000株
発行済株式の総数	207,021,309株
株主数	9,915名

株式所有者別の状況



※自己名義等は、自己名義株式(277,183株)および当社関係会社が所有する株式です。

配当情報

中間配当	1株当たり5.00円
当期末配当(予定)	1株当たり5.00円

株主メモ

証券コード	8050
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
決算基準日	3月31日
配当支払株主確定日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人および特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
郵送物送付先 お問い合わせ先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話：0120-288-324(フリーダイヤル)
公告の方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。

## 「セイコープレミアムブティック」を銀座にオープン

7月30日、3つの高級ウオッチブランド(グランドセイコー、クレドール、ガランテ)のみを取り扱う高級品専門の路面店「セイコープレミアムブティック」を銀座に開店しました。このブティックは、世界の主要都市で展開するセイコー専門店「セイコーブティック」の頂点となる店舗で、路面店としては国内初、高級品のみ取り扱いが世界初です。

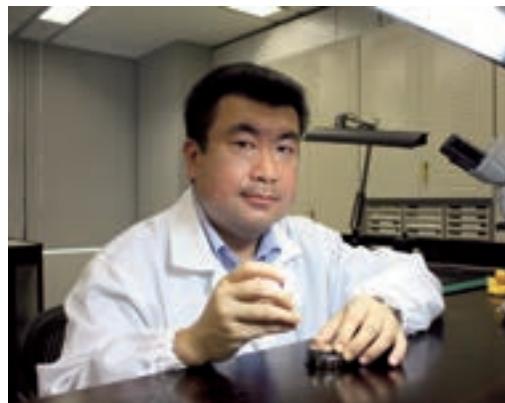
店内には、20万円台の商品から、名工の手作りによるマスターピースを含む3,000万円台まで、約200点が品揃えされています。今後も世界の主要都市を中心にブティック展開を進め、セイコーファンのさらなる獲得、ブランド価値向上を目指していきます。



## 時計技能士・平賀聡(セイコーインスツル)が「現代の名工」に選定

機械式腕時計の組立・調整・修理を行う平賀聡が、厚生労働省から平成27年度「卓越した技能者(現代の名工)」に選定されました。セイコー最高峰の高級ウオッチブランドであるグランドセイコーを主に担当し、組立・調整の高い技能が求められる製品を中心に手がけています。

後進の指導にも積極的に取り組み、時計技能競技全国大会優秀賞受賞者や若手時計組立士などを育成、人を育てる力も認められています。2014年3月には、世界最大級の時計・宝飾の国際見本市であるパーゼルワールドで機械式腕時計の組立・調整の実演を行い、その技能は海外からも注目を集めました。



セイコーホールディングス株式会社

〒105-8505 東京都港区虎ノ門二丁目8番10号  
電話 03-6739-3111(代表)

